



©木村 護

寺岡 清高 *Kiyotaka Terada*

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学指揮科に学ぶ。
1997年イタリア・シエナのキジアーナ音楽院よりフランコ・フェラーラ大賞を授与され、1年間ロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等で研鑽を重ねる。
2000年ミロプローロス国際指揮者コンクール優勝。
これまでに数多くの国内オーケストラとともに、フェニーチェ歌劇場管、サンクト・ペテルブルグ・フィル、ウィーン室内管、イギリス室内管を始め、ヨーロッパ各国のオーケストラへ客演している。
大阪交響楽団とは、2004年1月の正指揮者就任以来緊密な関係を続けており、2011年4月から2019年3月まで同楽団常任指揮者を務める。ウィーン在住。
2023年3月公益財団法人伊賀市文化都市協会音楽アドバイザー就任。



©Kei Uesugi

北川 千紗 *Chisa Kitagawa*

2020年第89回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)含む4つの特別賞を受賞。
2021年スピヴァコフ国際ヴァイオリン・コンクール(ロシア)第2位。
このほか数々の国際コンクールで受賞歴を持ちクレモナ・国際ソロヴァイオリンコンクールを含め3つの史上最年少優勝を皮切りに2009年より11の国際コンクールとオーディションにおいて第1位とグランプリを獲得。毎年世界各国の国際音楽祭に招聘されている。
国内外多数のオーケストラとソリストとして、室内楽では日本の第一線で活躍するソリストとともに各地で共演を重ねている。第25回ABC新人コンサート最優秀音楽賞受賞。
東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学卒業。
桐朋学園大学大学院修士課程修了。今春ロイヤルコンセルトヘボウ(アムステルダム)においてデビュー。



©飯島 隆

大阪交響楽団 *Osaka Symphony Orchestra*

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。
2022年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。
2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO(当時) 樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社「代表取締役社長/CEO 芳井敬一氏」に理事長をバトンタッチした。
2023年3月、公益財団法人伊賀市文化都市協会、伊賀市と「文化のまちづくり」推進に関する連携協定を締結。 楽団公式ホームページ <http://sym.jp> (2023年4月現在)